

伊能隊測量も新幹線も吉岡を経て一の渡（北斗市）へ 第21回「殿様街道」探訪ウォーク in 秋



▲茶屋跡での説明に耳を傾ける参加者の皆さん

10月25日（日）に、千軒地区において第21回「殿様街道探訪ウォーク in 秋」が開催され、約50人が7キロ程の道を散策しました。

今回は、来春の「北海道新幹線開業」と「いさりび鉄道開業」を記念し伊能忠敬の測量の道をテーマに掲げ、歴史の道を福島町史研究会の中塚副会長らの説明に耳を傾けながら、紅葉に彩られた街道を歩きました。

また、散策後は、千軒そばの新そばを味わい、松前神楽の舞を楽しみました。

千代の山の写真を寄贈してくれました



▲杉村信寿さん（写真右）とお孫さんの杉村理樹さん（写真左）

11月2日（月）、第41代横綱千代の山の長男の杉村信寿さんとお孫さんの杉村理樹さんが福島町に来町し、現役時代の貴重な写真を寄贈してくださいました。

その後、二人は横綱記念館を訪れました。

信寿さんは平成9年の記念館開館式典以来で、理樹さんは初めての来館となります。

館内では、小笠原佐登子さんのガイドを聞きながら興味深く見学していました。

貴重な写真を寄贈いただき、ありがとうございました。

高齢者の見守り体制の充実のために 福島町地域見守り活動に関する協定を締結



▲左から 道新鶴井函館支社長、工藤吉岡販売所長、繁泉福島販売所長、鳴海福島町長

町と函館地方道新会（宮崎高志会長）は、11月6日（金）、「福島町地域見守り活動に関する協定」を結び、役場で締結式が行われ、鳴海町長と繁泉販売所長が協定書を交わしました。

協定書には、道新配達員が新聞配達などの際に地域の高齢者や障害者に目を配り、異変を発見したり、支援を求められた場合に町や警察、消防など関係機関に速やかに連絡するもので、高齢者の見守り体制の充実が図られるものと期待されます。